

## グローバルサウスにおける持続的な農業生産システム構築支援

令和8年度予算概算決定額 202百万円（前年度 200百万円）

### <対策のポイント>

- 国際機関と連携し、我が国民間事業者等の技術を活用し、**グローバルサウス諸国の農業・食料システムが直面する気候変動等の課題への対応を支援し、持続的な農業生産システムの構築を図ります。**
- アジア地域における、JCM（二国間クレジット制度）を念頭に質の高いカーボンクレジット創出のための方法論の作成・公表をはじめ、**グローバルサウスにおける持続的な農業生産システムの構築に向け、我が国民間事業者の事業展開を促進**することで、我が国が有する技術等の普及と併せ、我が国への農産物の輸入調達の安定化へ貢献します。

### <事業目標>

- グローバルサウスにおける農業の持続性及び生産性の向上、民間事業者の事業展開促進、技術等の普及、持続可能な輸入調達の実現
- 東南アジア等の稲作地帯におけるGHG削減、現地農家の所得向上、我が国の環境配慮型技術の海外普及、日本企業進出の基盤整備に貢献

### <事業の全体像>

#### **1. IFADと連携した持続可能な農業・食料システム構築に向けた民間企業の活動支援事業（IFAD拠出） 100百万円（前年度103百万円）**

輸入食料に係る持続可能なサプライチェーン強化に際しては、特に途上国での生産体制の整備が課題となります。このため、国連の専門機関である国際農業開発基金（IFAD）と連携して、**我が国企業と現地生産者とのマッチングを図り、民間企業が実施する途上国農業の持続可能性、生産性や品質の向上等の取組を支援**することで、現地生産者のニーズを満たしつつ、我が国への食料調達の安定化を図ることで、食料安全保障の強化に貢献します。

#### **2. アジア地域における持続可能な食料システム構築支援事業（ADB拠出） 52百万円（前年度51百万円）**

東南アジアの稲作地帯において、我が国の環境配慮型の農業技術とJCMとを組み合わせ、**質の高いカーボンクレジットを創出**するため、アジア開発銀行（ADB）等と連携し、**信頼性及び透明性の高い方法論の作成・公表**に取り組み、我が国の農業技術に基づく方法論の他国への普及・拡大を図ります。また、**広く脱炭素の取組促進等のためのワークショップやセミナーを開催**します。これらを通じて、東南アジアの稲作地帯におけるGHG削減、現地農家の所得向上、我が国の環境配慮型技術の海外普及に貢献するとともに、日本企業の現地での活動を円滑化させる基盤を整備します。

#### **3. 食料安全保障と地域発展のための地域食料システム構築支援事業（WFP拠出） 50百万円（前年度46百万円）**

従来、国連世界食糧計画（WFP）と取り組んできた住民参加型の開発事例の知見を基に、西アフリカ諸国への横展開を行うべく、**セネガルに実証圃場を設置し、現地進出に関心のある日系民間企業をパートナーとして資機材の実証と同時に小規模農家に対する技術指導を実施**します。これらの活動を通じ、対象国の地域の食料システム構築に貢献するとともに、民間企業等の食料・農業分野での西アフリカ地域への参入を後押しします。